

2014全国通信三田会秋期幹事会報告

2014年10月18日(土)

資料 NO. 2-8-0

地域連絡部部長 瀬戸田 誠

1. 地域連絡部の現状と対策

春期幹事会でも提議した下記の事項について、より一層の改善を望む。(情報の共有)

1-1 情報の連絡方法の多角的活用がされてない(連絡、回答が非常に遅い)

→ E-Mail、携帯電話の携帯メール、SM(ショートメール)、ファクス等を念頭に活用出来る手段をスピーディに判断活用する

1-2 地域内の有効な連絡網(マップ)がない

→ 副部長がイニチアシブを取って、地域内三田会と連携協議して連絡網マップを作成し活用する

2. 地域連絡部の日常活動と役割

2-1 各地域内における、活性化のけん引役としての活動を、地域三田会とタイアップし、パワーアップする。(担当地域三田会との連絡網を構築し、情報交換を促進する)

→ 合同通信三田会開催時に、テーマを取り上げて協議、サポート連携、提案
合同通信三田会未組織地域への促進活動を実施し、地域の活性化を計る。

2-2 地域にある慶友会と通信三田会の交流を促進、会員増員対策を図る。

→ ニュースレター情報等を資料として、会活性化の話し合いをする。

2-3 全国通信三田会幹事会や慶應連合三田会に出席出来ない役員・会員へのサポート

機能として合同通信三田会の場を活用してPR(会報なども活用し全国の情報を公開する)。

※合同通信三田会は各地域で益々活発な活動を展開し、成果をあげている。

→ 慶應の良さは「三田会」にあり、「慶應連合三田会」へ誘い合い参加し、母校を訪問を。

以上